

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2002-55928(P2002-55928A)

【公開日】平成14年2月20日(2002.2.20)

【出願番号】特願2001-138134(P2001-138134)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 15/00

H 0 4 L 12/58

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 1 0 D

G 0 6 F 13/00 3 5 1 N

G 0 6 F 15/00 3 1 0 P

H 0 4 L 12/58 1 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月18日(2003.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】メッセージ処理システム、メッセージ処理プログラム、およびメッセージ処理プログラムを記録した記憶媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

メッセージ処理プログラムを格納した記憶媒体であって、
前記メッセージ処理プログラムは、コンピュータを、
受信したメッセージを解析して、当該メッセージがそのメッセージ発生時間に関する条件を含む所定の条件を満たしているか判断する判断手段、
前記判断手段により当該メッセージが所定の条件を満たしていると判断された場合には、当該所定の条件に対応する処理を実施する実行手段、
として機能させるメッセージ処理プログラムを格納したコンピュータ読取可能な記憶媒体

。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

メッセージ処理プログラムであって、コンピュータに、
受信したメッセージを解析して、当該メッセージがそのメッセージ発生時間に関する条件を含む所定の条件を満たしているか判断する判断手段、
前記判断手段により当該メッセージが所定の条件を満たしていると判断された場合には、

当該所定の条件に対応する処理を実施する実行手段、
として機能させるメッセージ処理プログラム。